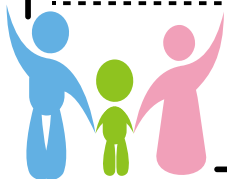


# V 支援のポイントと



## 対応 (Q&A)

登園  
1

### あいさつをしないのはなぜ？

子どもが困っている原因を考え、仮説をたてる

※人との関わりが苦手なの  
かも？



- 他には . . .
- \*見通しと異なる声かけに対応できないのかも？
- \*よく聞き取れなかったのかも？
- \*理解できていないのかも？
- \*周囲に気をとられていたのかも？
- \*タイミングが分からないのかも？

支援のポイント

### あいさつをする習慣をつけていきます

#### 環境設定の工夫のポイント

- カードや物を使用し、言葉を添えてコミュニケーションをとります。
- 子どもの注意を向けてから声をかけるようにしましょう。
- 1日のスケジュールが目で見分分かるようにします。

#### 関わり方のポイント

- 先生とタッチすることや握手することなどからスタートするのも良いでしょう。
- 段階的に、目を合わせたり、お辞儀をしたり、少しずつ関わりを増やしていきます。

#### 家族との連携のポイント

- 普段の家での様子を聞きます。
- 家庭でも挨拶の習慣をつけていきます。



## 登園 2

# お母さんから離れられなくて、 泣いているのはなぜ？

子どもが困っている原因を考え、仮説をたてる

※お母さんから離れることは子どもにとっては環境が変わって、不安なのかも？



- 他には . . .
- \*感覚が過敏でざわざわした音が不快なのかも？
- \*これからどうなるのか、ここがどういう場か分からず不安なのかも？
- \*母親がいることにこだわっているのかも？

### 支援のポイント

子どもが安心できる方法を考えます

#### 環境設定の工夫のポイント

- 本人が好きなおもちゃを用意します。
- 母親のお迎えの時間を教えます。

#### 関わり方のポイント

- 子どもの気持ちに添った声かけをします。
- 気持ちを切り替えられるよう、その子の好きな遊びに誘うなどします。
- 母親が帰るとケロツとしている場合には、母親に早く帰ってもらうように伝えましょう。

#### 家族との連携のポイント

- 普段や今朝までの様子を聞きます。
- 生活記録を共有します。
- その日の天候も記録しておきます。(気圧や湿度等が体調や気分に影響を与えるため)



短く、穏やかな声で。肯定的に。



支援のポイント  
と対応(Q&A)



登園  
3

# 荷物を決められた場所に置けないのはなぜ？

子どもが困っている原因を考え、仮説をたてる

- 他には . . .
  - \*他に興味がある物があるのかも？
  - \*今、何をすればいいのかわからないのかも？

※どこに何を置けばいいのかわからないのかも？



支援のポイント

決まった場所にいつも  
置けるよう、その子が自分でできる工夫を考えます

## 環境設定の工夫のポイント

- 持ち物と置く場所に同じマークをつけます (子どもが好むシールなど)。
- 手順や場所がわかりやすいように絵や写真を使います。

## 関わり方のポイント

- 手順表を見せながら手順を伝えます。
- 指示は、動作や言葉を添えます。
- その都度「できたね」とほめます。

## 家族との連携のポイント

- 家庭と園で同じマークを使用します。
- ひとつでも子ども自身で持ち物の準備ができれば、家庭でほめてもらうように伝えます。



「A子ちゃんの手すりはどこかな・・・？」

## 好き嫌いが多いのはなぜ？

子どもが困っている原因を考え、仮説をたてる

※味覚が過敏なのかも？



- 他には . . .
- \*見た目（形、色）にこだわりがあるのかも？（丸いもの、白いものなど）
- \*食べ物の温度にこだわりがあるのかも？
- \*においが苦手なのかも？
- \*食わず嫌いなのかも？

支援のポイント

感覚の過敏に配慮します

### 環境設定の工夫のポイント

- 無理強いせず、その子が食べきれる量をお皿によそいます。
- 給食の場合は、同じ食材でも調理法を変えたり、食材別に分けてあげたりします。

### 関わり方のポイント

- 苦手な物を無理強いせず、「残していいよ」と声をかけます。
- 小分けにして、少しでも食べることができたら、ほめます。
- 子ども自身が食事は楽しいものと感じられるようにします。

### 家族との連携のポイント

- 好き嫌いの内容や同じ食材でも調理の仕方を変えると食べられるなど、家庭での工夫を聞いておきます。
- 園で食べられるようになった物を家庭に伝えます。



盛りつけ方や食器にも配慮します。



## 頻繁に姿勢を変えて、じっとしてられないのはなぜ？

子どもが困っている原因を考え、仮説をたてる

※目に入ってくるものや耳に入ってくる音に落ち着かないのかも？



- 他には . . .
- \*他に興味がある物があるのかも？
- \*話が分からないのかも？
- \*姿勢を保持する筋肉が弱いのかも？
- \*自分の体が動いていることが、意識できにくいのかも？
- \*いつまでじっとしていなければいけないのか分からないのかも？

### 支援のポイント

周りの余計な刺激を避け、他に注意が向かわないようにします

### 環境設定の工夫のポイント

- 体に合っている、座りやすい椅子を用意します。または滑り止めシートを利用します。
- 注目がそれて、ほかに注意が向いてしまうような物は見えないようにします。
- 「今、何をやる」「これから何をやるのか」分かる絵カードや物を用意します。
- 先生の近くの席にします。

### 関わり方のポイント

- 子どもが先生に注目していることを確認してから話します。
- 話す内容を予告します。
- いつまでそうしておかなければいけないかを予告します。
- 身体を一部動かすと落ち着くので、例えば仕事を与えて動ける時間をつくります。

### 家族との連携のポイント

- 話をするときは、子どもの注意を向けてから話をするようにしてもらいます。
- 家庭と園でそれぞれの工夫を互いに伝えます。



話す内容を予告します。



# トイレで用を足せないのはなぜ？

子どもが困っている原因を考え、仮説をたてる

※手順が分からないのかも？



- 他には . . .
- \*したくなくても伝えられないのかも？
- \*する 때가分からないのかも？
- \*園のトイレが嫌いなのかも？
- \*オムツの中にすることにこだわっているのかも？
- \*トイレとっていないのかも？

## 支援のポイント

ていねいに、根気よく、スモールステップで教えます

### 環境設定の工夫のポイント

- トイレの高さや大きさが子どもに合っているか確認します。
- トイレの使い方は絵や写真、手順表などで子どもに分かりやすく示します。
- トイレットペーパーの1回に使う長さを図に示すなどします。
- トイレに子どもの好きなキャラクターのシールを貼ります。

### 関わり方のポイント

- 子どもの様子をよくみて、決まった時間にトイレへ促します。
- 基本的なマナー、例えばトイレ以外の場所では服をおろさないなどを伝えます。
- 排泄行動とトイレという場所をつなぐようにします。(ex. オムツをしてでも、トイレに移動して排泄することからはじめましょう。)

### 家族との連携のポイント

- 家庭での工夫、園でうまくできた取組みを互いに伝えます。
- 失敗しても怒らないように話します。
- わずかな時間でもトイレに座れたなど、少しでもできたら家庭でほめてもらうように伝えます。



手順表などで分かりやすく示します。



## 順番が待てないのはなぜ？

子どもが困っている原因を考え、仮説をたてる

※順番そのものを理解していないのかも？



- 他には . . .
- \*目に見えないルールを理解するのが苦手なのかも？
- \*どこに並べばいいのかわからないのかも？
- \*ルールを忘れてしまうのかも？

### 支援のポイント

目に見えないルールを見える形にします

#### 環境設定の工夫のポイント

- 並ぶ場所が本人に分かるように待つ場所をつくります。
- 次の順番の人は目印のぬいぐるみを持つなど目で見て分かる工夫をします。

#### 関わり方のポイント

- 目に見えない決まりごとを、その子が理解できるように、絵や写真を使って伝えることが必要です。
- ルールを守ることができたら、ほめましょう。
- 叱ったり責めたりせず、その都度繰り返し伝えます。

#### 家族との連携のポイント

- 家庭と園でそれぞれの工夫を互いに伝えます。
- 買い物のレジで順番を待ったり、電車やバスに乗るときに列に並んだりする姿を子どもにも見せます。

